

## 2. アンケートでいただいたご意見と市の回答・対応方針

分類	番号	ご意見等	市の回答・対応方針
地域防災力	1	防災態勢の強化で、地域組織の確立が取り上げられているが、どのように地域組織を構築するか。何処に要支援者がいるのかも不明であり、守秘義務の面で難しい面があるのではないかと。	地域組織の構築については、自主防災組織の育成・活動支援および各地域の団体の訓練等の後援などを通じて行っています。 また、市では「災害時要援護者避難支援モデル事業」に取り組んでおり、地域社協や自主防災組織に支援団体としてご協力をお願いしています。この事業は、市が要援護者を特定した後、支援団体(地域社協等)に支援者を捜していただくのですが、現在、事業を実施している2地区(吉西・東部福祉の会)では、支援者がほぼ決定されています。守秘義務について、支援団体と支援者からは、個人情報保護に関する誓約書等を提出していただき、個人情報の取り扱いに十分に注意を払いながら事業を行っています。市内全域での取り組みについては、今後、地域の特性等を踏まえたくうえで、検討していく予定です。
ハモニカ横丁	1	吉祥寺駅北口のハモニカ横丁は、ガス・水道が不備のため、災害に大変弱いので、インフラを再整備するにあたっては、市に最大限のご協力をお願いしたい。市の考えを聞かせてほしい。	ハモニカ横丁は、民間の一敷地内にある商業施設の集合体です。多くの権利者の方々が関わっているため、ハモニカ横丁の関係権利者の合意形成等については、非常に困難な状況にあると伺っております。そのため、災害に強いまちづくりに向けて合意形成が図れるよう、関係者の方々と協議しながら、市としても支援を続けていきます。 また、地域内の態勢の整備状況に合わせて、大型消火器等、地域の状況に適した防火設備を検討のうえ、整備していく予定です。
災害弱者	1	お年寄り、認知症のある方、障がい者、赤ちゃんなど、災害弱者の視点で防災計画を作る必要が急務である。その意味でも、計画作成時に災害弱者の方々を加えてほしい。	災害時要援護者といわれる方への対策については、地域防災計画にも、地域の安全体制の確保や震災時の活動を定めています。 詳細な計画や活動については、市の各部署でも検討して、地域の方と連携を図りながら、調整していきます。
防災倉庫	1	桜堤3丁目の上水北公園に防災倉庫や防災機具を設置してほしい。	防災資機材を備えた防災倉庫については、防災広場を中心に設置を進めています。 管理等をお願いするために、まず自主防災組織の訓練活動などの支援から行っていき、組織の習熟度をみながら、順次資機材等の貸与を行っています。

分類	番号	ご意見等	市の回答・対応方針
活断層	1	武蔵野断層もあると聞いたが、本当か？	東京都内では、青梅市・瑞穂町・武蔵村山市・立川市を経て国立市までの、ほぼ北西から南東方向に連なる「立川断層」が報告されています。都内の関東平野下に、未発見の活断層が存在する可能性はありますが、A級の活動度をもつような活断層が存在する可能性は低いといわれています。
防火水槽	1	自分の住んでいるマンションは、中町北公園の用地を市に提供しており、この公園の消防用の地下タンクが設置されている。この地下タンクの水は25年間入れ替えられていないが、マンションの受水槽にも、このタンクからの水が混入しているおそれがあり、飲料水にも影響が出ていると思う。地下タンクの水を定期的に入れ替えるとともに、清掃を行ってほしい。	【※19ページ 確認結果】 現地も確認しましたが、中町北公園内の防火水槽は、マンションの受水槽と直結する構造になっていないため、防火水槽の水が混入することはありません。
	2	御殿山2丁目の横河電機の社宅跡地に、マンションが建設されているが、そこに設置されていた防火水槽はどうなったのか知りたい。	【※21ページ 確認結果】 「武蔵野市宅地開発等指導要綱」に基づき、防火水槽40トンを設置する予定です。なお、以前、横河社宅に設置されていた防火水槽も40トンでした。
防災無線	1	緊急地震速報を防災無線で流して欲しい。	現在、防災無線は、大雨警報発令時や、5時のチャイム等に放送しています。緊急地震速報は揺れが始まる数秒～数十秒前に放送されることや、防災無線のスピーカーから無線放送するまでの時間差、放送音の明瞭度などを考慮すると、一斉放送には適さないと考えています。
情報提供	1	市の防災対策をもっと宣伝してほしい。	市の防災対策・防災態勢については、市報・ホームページ・むさしのFM・ケーブルテレビにより、また、訓練や地域でのイベント等の際に、広報を行っていますが、これからも関係機関や地域の皆様の場を通じて、広報・啓発に力を入れていく予定です。
防災情報システム	1	防災安全センター完成で、おそらくコンピュータシステムも新しくなっただろうし、市のIT活用体制はアップデートされたかと思ったが、一向にそれが感じられない。	防災安全センターには、「防災情報システム」を導入しており、さまざまな機能がありますが、災害時の被害情報・避難所情報や物資要請・職員の参集などに活用できるシステムとして、平常時から各部署の職員とともに研修などを行っています。庁内の体制としては、平成20年度から3年間を計画期間とする「第二次総合情報化基本計画」に基づいて、「ITを活用したサービスの拡大」「事務事業のIT化の推進と効率化」「既存システムの費用対効果の視点での見直し」「情報セキュリティの徹底」等の課題の解決を着実に進めていきます。

分類	番号	ご意見等	市の回答・対応方針
空き地の管理	1	<p>御殿山2丁目の日本生命社宅跡地のところは、草の丈が2メートルぐらいに伸びている。閉鎖されてはいるが、もしもあそこで、子どもが入り込んだりしたら、目につかないのではと不安を感じている。何とかしてほしい。</p>	<p>平成20年9月18日に、現地確認を行ったところ、雑草が一部フェンス脇に2mほど伸びている状況でしたが、周囲はより高いフェンスで囲まれており、比較の見通しが良い状況でした。しかしながら、放置されると、雑草は生い茂る状態になりますので、一般的な管理のほか、安全性を向上できないかを所有者に問い合わせたところ、所有者からは、定期的に巡回し、現在、除草の準備を行っているところであるという回答を得ています。</p>
新型インフルエンザ	1	<p>本日のテーマ討議内容が地震、火災対策に偏っていたが、鳥インフルエンザのヒトへの感染の爆発的流行(パンデミック)は発生確実視されている中、企業の6割は諦めの状態であり、自治体の対策が必須である。特に、駅・集会所・大規模事業所の対応、タミフルの備蓄、防疫、日赤との協力、市民の行動規制などなどの基準が必須。さらに市民への啓蒙、国との連携などなどのガイドラインが必要ではないだろうか。</p>	<p>市では、平成19年11月に対策の基本を取りまとめた「武蔵野市新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しました。現在、より具体的な各課の対応マニュアルを作成中です。また、今後は、医師会等関係機関と医療体制確保について打合せを行っていく予定です。</p>